

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・暖かくなったので冷麺類の販売が増加した。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・来客数は横ばいかやや上向きで、客単価は昨年より上昇している。衣料品の商材単価がわずかに持ち直している。食品は水産、肉がやや不振である一方、野菜が相場高で動いている。
		衣料品専門店（営業・販売）	お客様の様子	・買い控えしていた客が戻ってきている。
		その他飲食 [コーヒーショップ]（店長）	来客数の動き	・GWの飛び石連休が功を奏してか、海外旅行客が減少し、国内の消費につながっている。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・花見シーズンを迎え来客数が増加し、土産等を買うなど単価も上昇している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・大阪市内の稼働率が対前年10%ダウンという極度の落ち込みのなか、宿泊、宴会とも前年以上の予約があり、しばらく控えていた会合も復活するなど、単価もさほど落とさずに売上が順調に推移している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・午前中にホテルなどで客待ちをする待機車が、先月と比較して全般的に少なくなった。流し営業での実車率が向上したため、以前のようにホテルにまわってくる回数が減少した。
	美容室（店長）	来客数の動き	・伸び自体は大きなものではないが、4月から始めた友人紹介を中心とした新客フェアにより、新しい客が増えた。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・昼間の来客数が減少している。スーパーでの夕方5時以降の値下げを待っている客が多くなっている。
		一般小売店 [酒]（経営者）	来客数の動き	・入学等による支出増加や、GW前ということもあり、主婦層の財布のひもが固い。 ・ランチタイムの来客数は減少しているものの、ディナータイムは飲み会等の需要が順調に推移している。
		一般小売店 [衣服]（経営者）	お客様の様子	・気温に左右され、春物よりも初夏物のジャケット類の売行きが上向いている。
		一般小売店 [家具]（経営者）	お客様の様子	・客の様子は変わらない。季節的要因で商品が動いているが、低単価の商品が売れるという状況は変わらない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・来客数は少し減少したが、様子としては回数を分けているか、まとめ買いをしているかの違いで、特に買い控えが起こっているとは感じられない。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・気温も上昇して前半はジャケットの動きはあったものの、景気が回復したというほどではない。特にミセスの売上の落ち込みはまだ激しい。
百貨店（売場主任）		お客様の様子	・春から初夏にかけてのプロパーの売上は横ばい状況で、ヒット商品が少ない。	
百貨店（売場主任）	販売量の動き	・天候の影響も大きく、来客数の落ち込みが激しい。春物商品が不調に終わり、一気に初夏物での商戦を強いられるためアイテムの早期切替えが重要になっている。		
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・必要な物以外は買わない状況が続いているが、一部で高額なブランド時計の購入がみられるなど二極化が進んでいる。		
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・この2、3か月、付加価値の高い商材のお買得品のみが売上増加の傾向にあり、集客のための広告効果が薄くなっている。客の商品を見る目が大変厳しく、良い物と悪い物の差別化を特に求めている。		
百貨店（売場担当）	来客数の動き	・これまで値引き優待会の時は来客数、客単価ともに良かったが、最近は優待会でも来客数が少ない。値引き販売に慣れ、購買意欲がみられない。		
スーパー（経営者）	単価の動き	・農作物、肉類を始めとする生鮮品の単価が堅調である。ここ1、2年強かった輸入物、中国産の食品が、農業問題やSARSの影響などで売れなくなっていることが、結果として単価引き上げにつながっている。		

	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・今月は週末を中心に雨が強いものの、大きく売上が落ち込むことはなく、比較的堅調な売上を示している。
	スーパー（経理担当）	お客様の様子	・必要最小限の買物しかしないなど、客の動向は変わっていない。販促、チラシその他による特売品のみを買う客が増えている。
	スーパー（広報担当）	お客様の様子	・食料品の1人当たりの買上点数が前年を下回っている。客の節約志向が高まっており、普段の買物では不必要な物を買わない。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・商品の売上が前年比1割～3割伸び悩んでいる。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・新商品の回転率が悪い。
	家電量販店（店長）	競争相手の様子	・競合店との価格競争が非常に厳しくなっており、客は何軒もまわった上で価格を比較して決めるという姿勢が強まっている。
	家電量販店（企画担当）	単価の動き	・洗濯機、クリーナー、オーディオ機器、FAXなどで単価は上昇しているものの、その他ほとんどの商品で単価は下落している。
	家電量販店（営業担当）	単価の動き	・来客数の極端な減少はないものの、客単価は大きく下落している。GW中は来客数、客単価とも大きく落ち込んでいる。
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・1～3月は来客数も多く店頭も賑わっていたが、4月に入って減少し、商談締結までの日数も長期になっている。
	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・例年はGW前の駆け込み需要がかなりあるが、今年はそのような動きが一切みられない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・夜間の客が極端に減少している。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・安いゴルフ場で回数を多くまわりたいというベテランのゴルファーなどを中心に、新しい客が増えている。
	競輪場（職員）	販売量の動き	・車券発売金は依然として回復の兆しはなく厳しい状況にある。競輪界ビッグレースの売上も前年に比べ、条件は異なるものの2桁の減少が見受けられる。
	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	お客様の様子	・ホール使用日数は悪くないが、イベント主催者は開催経費を抑えるなど苦労している様子が見受けられる。
	その他レジャー施設（企画担当）	単価の動き	・新規施設への集客は相当あり、レジャーニーズが一定水準存在することはうかがえるものの、特にファミリー層の消費単価が低い。
	その他サービス [クリーニング]（経営者）	販売量の動き	・前年同月並みの実績となったが、これは気候的な要因に左右されて実績が芳しくなかった前月分がずれ込んだものである。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・取引総数にあまり変化はないが、低額物件の問い合わせ数は増加している。
やや悪くなっている	一般小売店 [精肉]（管理担当）	販売量の動き	・SARSの影響による香港市場での売上が減少している。店頭販売及び外食店等の対個人客においても、販売量が減少している。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・平均単価は一部の高額品に動きがみられるため上昇しているが、来客数が減少するなか、来店しても購買に至らない顧客が増えるなど、購買客数も減少している。 ・売れ筋商品にも偏りがみられ、品切れ商品は入荷までいつまでも待ち、代替商品は勤めても買わないという慎重な購買態度が顕著になってきた。 ・GW前半も季節衣料品の売上は苦戦した。夏物衣料品では流行の商品より長く着られる定番商品の動きが良い。
	百貨店（売場主任）	単価の動き	・天候の影響やトレンドの流れもあり、ジャケットを中心とした春物全般に不振が続いている。後半に入り、気温の上昇もあってカットソーなどの単品アイテムに売れ筋が集中した結果、客単価がマイナス6%の大幅減という結果になった。
	百貨店（営業担当）	お客様の様子	・宝飾品、美術品などは周りを気にして、今は買う時期ではないと手控えている。その一方でリビング品は引き合いが多くなってきた。

	スーパー（経営者）	お客様の様子	・買物の様子は特売品の原価を切ったような商品は売れるが、定番の商品の動きが非常に悪い。
	スーパー（経理担当）	来客数の動き	・ライフスタイルの多様化した消費者が要求する商品の不足からか、来客数の減少が目立つ。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・有名ブランド米を使ったおにぎりは、高単価にも関わらず好調である。客に本物志向の動きがみられる。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・ハイウェイカードの3、5万円の廃止や、気温の低下による飲料の販売不振で、売上が減少している。3か月前と比べ既存店平均はマイナス3%と悪化している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・イラク戦争、SARSの影響でショッピングセンターの来客数が減少している。
	衣料品専門店（総務担当）	お客様の様子	・客の動向にSARSの影響が及んでいる。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・新車販売価格の平均単価が、1年前と比べ大きく下落している。低価格商品が売れている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・例年になく客の動きが悪かった。過去も統一地方選挙のある時は悪かったが、今年は2回選挙があり、特に地方の客が全く動かないので影響が出た。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・例年客が少ない時期ではあるが、GWの宿泊予約状況も悪く、何をしても来客数が増加しない。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・4月に入りSARSの影響で、東南アジア方面からの団体を中心に海外からのツアー団体が多数キャンセルになっている。
	タクシー会社（経営者）	来客数の動き	・タクシーチケットの売上が減少している。法人客がタクシー代を節約しているとともに、個人客も減っている。
	通信会社（経営者）	お客様の様子	・今年度の各社のIT関連予算が縮小しており、厳しい状況となっている。
	通信会社（社員）	単価の動き	・ケーブル加入申込者の増加ペースが昨年の実績値を3割ほど下回った。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・イラク戦争、SARS、北朝鮮と社会不安要因が多く、大型連休も例年より日並びが悪いという状況で、来客数が激減している。
	競輪場（職員）	来客数の動き	・近畿では当競輪場が一番早く新賭式を導入したが、現在ほとんどの競輪場において新賭式を導入したので、来場者が分散し減少している。
	その他サービス[学習塾]（経営者）	競争相手の様子	・特に中学1年生の入塾が思わしくない。昨年も芳しくなかったが、今年はそれ以上に悪い。
	その他住宅[展示場]（従業員）	単価の動き	・日々陳腐化していくモデルルームを建て替えるのに数千万円もの巨額な費用がかかることで、脱展示場の方針を打ち出すメーカーが多くなってきている。
悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・入学用品でも必要品はその時でないと思われない。
	一般小売店[菓子]（経営企画担当）	販売量の動き	・4月の売上前年比をみると、関東地区は少し持ち直してきているものの、売上全体の約70%を占めている関西地区が極端に悪い。
	一般小売店[衣服]（経営者）	単価の動き	・100円ショップの出現により、客は100円近辺の商品を当たり前のものと感じている。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・平均気温が前年より1.2度低く、雨天が前年より7日多かったことから、前半は来客数、売上高ともに5%低下した。後半は天候回復と気温上昇で前年比1%増で推移した。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・イラク戦争とSARSによる海外渡航者の大幅な減少によって、空港店舗の売上が予算比60%台に落ち込んでおり、会社業績にも大きな影響を与えている。
	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・売上額の昨年対比はマイナスであるが、そのマイナス幅は大幅に拡大している。SARS、イラク戦争によるマイナスの影響も大きい。
	都市型ホテル（副総支配人）	販売量の動き	・宿泊は稼働率、単価とも一段と厳しい状況が続いているほか、レストランも全般的に厳しく、期待通りの集客となっていない。また一般宴会は前年を上回っているが、婚礼は前年を下回っている。
	旅行代理店（店長）	販売量の動き	・海外旅行は、イラク、SARSの影響により来客数、受注とも大幅に落ち込んでいるが、国内旅行の盛り上がりも弱くなっている。

		旅行代理店（広報担当）	お客様の様子	・イラク戦争は落ち着いたが、SARSの影響で予約には結びつかない状況である。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・イラク問題に関しては対応済みであるが、SARSに関しては客の心理的な影響が強く、落ち込みに一層拍車がかかっている。海外旅行はアジア方面が壊滅的な状況であり、全体も昨年比50%と大きなダメージを受けている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・SARSの影響もあり、4月～6月の海外旅行の受注が対前年で約60%に落ち込んでおり、国内旅行も対前年で90%前後の受注になっている。そうしたなかで、海外の旅行控えが国内にシフトしていない状況である。
企業 動向 関連	良くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が確実に増えている。特に、土壌汚染対策法の施行や電線類地中化の推進を政府が発表しているなど、追い風が吹いている。
	やや良くなっている	木材木製品製造業（経営者）	それ以外	・色々な引き合いが入るようになってきた。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新年度の広告発注は、当初の予定より若干減っているクライアントもあるが、昨年に比べると増加しているところが多い。
		その他非製造業【民間放送】（従業員）	受注量や販売量の動き	・春先からテレビのスポット広告の活況が続いている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費量自体が減少傾向にあるなかで、シェアの奪い合いが激しさを増している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量や受注価格の底打ち感が出てきたが、企業間格差が大きいので取引先の信用度の調査に注意を払っている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築需要が伸び悩むなかで競争がますます激化しており、得意分野での特化戦略をとっているものの、困難な状況が続いている。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・商談はリードタイムが6か月から1年以上かかるため、ここ数か月間の交渉に変化はみられない。SARSの影響により海外出張が延期になるケースが増えつつあるが、取引先の生産縮小のような動きはない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・他社の参入が多く、価格競争は一向に収まらない。その一方で、値下げに抵抗していた外注先が値引きに協力するようになり、ますます不況が深まっている事を実感している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・仕入れ、生産でのコストダウンや人件費圧縮等の努力が実り、利益が出るようになったが、新規の設備投資は進まない。依然として不透明感が漂っている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・昨年末からの好調な荷動きの流れは今月に入っても維持しているが、販売価格は依然として下落傾向にあるため、トータルで見ると変わらない状況が続いている。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・2月、3月と上向き始めた住宅関連の大口客の受注量が、決算期を越えた4月になって激減しており、住宅建設の需要が必ずしも本格的に回復しているわけではないことがうかがえる。
		不動産業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建築工事、内装工事等の単価は最低を維持したままであり、かなり割安感がある。現在も変わらない。
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・競争相手が利益度外視で考えられない値引きをしており、その影響を受けている。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・受注価格もこれ以上下がると、経営コンサルタント業という業界、業種がなくなる。現在の受注価格レベルで、どれだけ仕事の質を上げられるかの勝負になっている。
司法書士	それ以外	・事業の拡大を目的とした仕事が少なく、権利保全のための仕事が多い。		
やや悪くなっている	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・受注残がないうえに、取引先は必要な物を必要な時にしか買わないため、生産計画が立てられない。	
	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ユーザーには中国進出企業が多く、SARS問題に端を発して受注にかげりが出ている。	
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・荷動きが悪く、アジア向け輸出にもかげりが出てきている。	
	建設業（経営者）	競争相手の様子	・特に価格競争が激しくなっている。同業者の倒産が増えてきている。	

		輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・関西空港での輸入貨物の取扱が不調であり、前年比で30%減っている。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・決算報告等の説明を受けていると、売上や収益の減少が多く報告されるほか、借入金の条件緩和の申し入れも多くみられる。
		経営コンサルタント	競争相手の様子	・クライアントである企業の倒産、経費節減の理由から受注が激減している。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・1月との比較では、過去5年間売上が下回ることはなかったが、今年度は初めて下回りそうである。印刷複写では、昨年はカラー印刷だったものが今年から白黒でという依頼が多かった。
	悪くなっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・生産ラインの3分の1を受注予測から考えて停止した。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・イラクの戦争、SARSの影響で、主力の航空機部品の受注が約30%ダウンしている。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・賃貸マンション、貸事務所等の賃貸物件が値下がりしており、収益が上がらない。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人が、製造業、サービス業中心に3か月連続で2桁の増加を示している。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	採用者数の動き	・ビルメンテナンス会社の清掃など、3時間のパート募集では反響が少ない一方で、5時間パートや1日のパートだと反響がみられる。これは1時間でも長く働いて収入を増やそうとする動きの表れである。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は、昨年5月より微増傾向が続いているが、請負、派遣会社からの求人が相変わらず目立っており、求職者とのミスマッチが続いている。新規求職者のうち、無業者の占める割合が過去最高となった。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・新規求人数は前年度より増加し、新規求職者は減少している。有効求人倍率は上昇しているものの、就職件数は前年度から減少となった。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・企業セミナーの開催時期は、前年同時期より2週間ほど前倒しになっている。企業の採用意欲が回復しつつあるなかで、優秀な人材を早期に確保したいという狙いがある。
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺企業において支払いの遅延がみられる。期限を延ばして欲しい、単価を下げて欲しいという依頼が増えている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数が激変する動きはみられないが、価格の下落が著しく、その一方で高度なスキルを保有する人材を求められることから、雇用のミスマッチが一段と深刻化し、雇用情勢が悪循環に陥っている。	
	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・パート就労を希望する求職者の増加が続いている。企業からの求人についても、常用求人にも占めるパート求人や長期雇用求人の占める割合が増加しているものの、求職者の希望する条件とのミスマッチが強まっている。	
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・企業から届く求人の募集枠の絞り込みがきつく、採用を見合わせる企業が増加している。	
	悪くなっている			